

FRB、2会合連続での大幅利上げに動く

ポイント① 2会合連続、0.75%の利上げ

FRB（米連邦準備制度理事会）は、7月26-27日に開催されたFOMC（米連邦公開市場委員会）で、FF（フェデラル・ファンド）金利の誘導目標を、2.25～2.50%に引き上げることを決定しました。今年3月から利上げが開始され、0.75%の利上げは2会合連続となります。27日の米国債利回りは、米2年債が3.00%、米10年債が2.78%と、長短金利の逆転（逆イールド）現象が続いており、市場は急ピッチな利上げで米景気が減速するリスクを織り込み始めています。

ポイント② 市場は年内で利上げ打ち止めを予想

FRBは、FOMCメンバーによる政策金利見通し（中央値）を、22年12月時点で3.4%、23年12月時点で3.8%と、来年に向けて利上げ継続を見込んでいます。これに対し、FF金利先物では、22年12月が3.32%、23年12月には2.85%と、FOMCメンバーとは違った予想となっており、米10年債利回りは、米景気後退懸念などを背景に頭打ち感がみられています。

ポイント③ 政策金利が中立金利に到達

今回の利上げで、政策金利が、緩和でも引き締めでもない「中立金利」に到達したことで、パウエル議長は今後利上げペースを緩める可能性に言及しました。一方で、逼迫する労働市場やインフレの高止まりなど、今後の経済指標次第では大幅な利上げの可能性も示唆しています。次回9月のFOMCに向けて、雇用やインフレなどの経済指標の動向が注目されます。

米国の政策金利と米国債利回りの推移



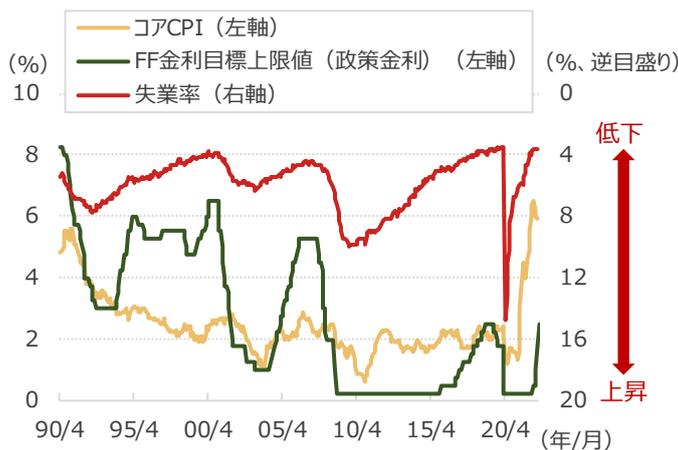
期間：2020年12月31日～2022年7月27日、日次
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

米国の政策金利の見通し

	22年12月	23年12月	24年12月
FOMCメンバー 政策金利見通し（中央値） ^{※1}	3.4%	3.8%	3.4%
FF金利先物 ^{※2}	3.32%	2.85%	—

※1 目標レンジ中央値、2022年6月15日時点 ※2 2022年7月27日時点
(出所) FRB資料、Bloombergより野村アセットマネジメント作成

米国のCPI、失業率と政策金利の推移



期間：1990年4月～2022年6月、月次（政策金利は月末値、7月27日まで）
コアCPIはエネルギー・食料品を除く消費者物価指数（前年同月比）
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

重要イベント	日付	内容
	7月29日	米個人所得、個人消費支出、消費支出デフレーター（6月）
	8月1日	米ISM（サプライマネジメント協会）製造業景況感指数（7月）

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。